

京都府中部のアサギマダラ・2019

京都府は、北端は日本海に面し丹後地方と呼ばれている。南端は奈良県に接し、京都市域までを山城地方と呼ばれており、平野部が多い。その中間は兵庫県にまたがる丹波地方の一部であり、その京都府域を中丹地方・南丹地方に分けることもある。全体としては南北に細長く、最長では140km余りである。

京都府以北の日本列島の、冷涼な山地で越夏繁殖したアサギマダラは、秋には吸蜜・交尾・産卵などをしながら(子孫を残しながら)主として森の中を南下移動するのであるが、その方向性は日本列島の傾きに合わせて南西方向であると考えられる。

日本地図で見ると、本州は弓なりに曲がって内側を日本海に面しており、京都府北部あたりから東西の海岸線となるため、南西方向に南下移動するアサギマダラは、京都府のあたりで本土を横断して太平洋側に出ることになる。京都府中部のあたりは丹波山地あるいは丹波高原とも呼ばれており、ほとんどが山地で自然度が高いので、その大半の地域は2016年に**丹波高原国定公園**に指定された。

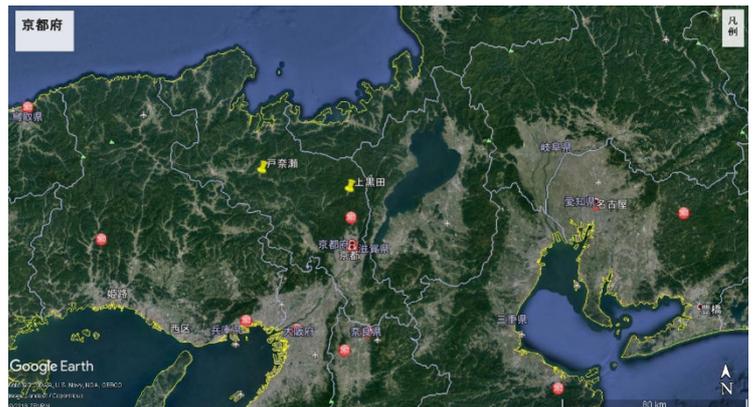
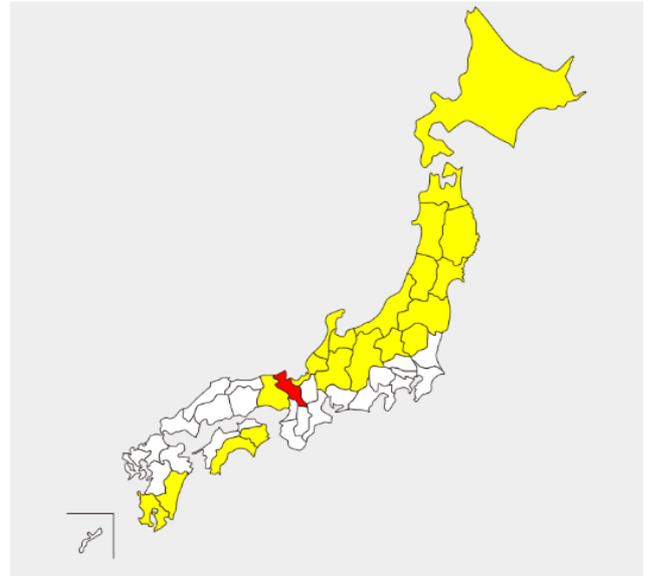
森の中で生活するアサギマダラの行動を調査するのは非常に困難で、近年フジバカマの栽培が大規模に行われるようになって初めてその実態が明らかになった。フジバカマの大規模な花壇は、森の中のアサギマダラを化学物質(匂い)で明るい、人の目にふれる場所に誘引し、密とフェロモンの前駆物質であるPAをふんだんに発散するので、開花時期にはアサギマダラが誘引されて乱舞するのがしばしば見られたのである。(京都・水尾8年間の記録)

2000年初頭のころまでは、標高1000mの高原である**びわ湖バレイ**(滋賀県大津市)でもアサギマダラの越夏繁殖がごく普通に観察されたのであるが、そのころ丹波高原の西端にある**長老ヶ岳**(900m余)にもヒヨドリバナ等の吸蜜植物や夏季の食草(イケマ)があり、越夏している個体もいたようだ。しかし、温暖化を背景に鹿が異常繁殖して森の下草を食い尽くし、林床が丸裸になった2000年初頭以来、アサギマダラの越夏は見られなくなったのである。

越夏は見られなくなったのであるが、南西方向に移動するアサギマダラにとって、1000m未満の森が連なる丹波山地は移動するのに好都合な環境であるらしく、2018年までの水尾のフジバカマ畑へのアサギマダラ大量飛来の実績が知られて以来、京都府中部山地のあちらこちらにフジバカマ花壇が作られると、驚くほどのアサギマダラが飛来することが分かった。日本地図で見ると、南西方向に移動するように進化したと考えられるアサギマダラは、北陸地方で日本海側に集まって、さらに南西方向に移動すると京都府を斜めに横断することになる。

2019年の秋には、その中から2地点を選んで標識調査を行った。

戸奈瀬は綾部市戸奈瀬町(中丹地方の南端・地域記号はAYBまたはAヤ)にある。舞鶴で日本海にそそぐ由良川は、綾部市の市街地を過ぎるころから両岸に山が迫り、谷は深くなって両岸には河岸段丘が形成されている。その河岸段丘の上に住む林賀壽美(KHA)さんが、自宅の裏庭(農地の一部)にフジバカマなどの吸蜜植物を植えて標識調査を行ったとこ



ろ、ビギナーとしては破格の 1111 頭に標識された。私(XX)も短時間ではあるが、8 回応援に出かけて 719 頭に標識したので合計では 1830 頭を捕獲し標識したことになるが、その中には他地の標識があるものが 18 頭(0.98%)含まれていた。また、他の地で再捕獲されたものは 45 頭あり、移動先は南西諸島から台湾までの広範囲であった。その軌跡を追うと今年の移動ルートの傾向が見てとれる。

上黒田は、京都市右京区京北上黒田町(4K)にあり、大阪湾にそそぐ淀川の源流域の一つである上桂川上流の、河川敷のフジバカマ葉草園である。遠隔の地にあるので 4 回しか調査できなかったが、597 頭を捕獲し、標識した。その中には他地で標識されたものが 17 頭(2.85%)含まれており、うち 10 頭は長野県以北のものであり、戸奈瀬とは傾向が異なった。他の地で再捕獲された 10 頭は、喜界島の 1 頭を除いては、四国までの近隣地域であり特徴的であった。

戸奈瀬(AYB・アヤ)で再捕獲されたものを見ると、長野県以北では長野県と群馬県が大半を占めており、日本海側では石川県が多数を占めている。静岡県や山梨県の富士山中腹がマーキングポイントとして知られているが、太平洋側からの再捕獲はない。

		2019年 移動 → 戸奈瀬で再捕獲		
日付	記号	標識地	再標識	mail
1	9月28日	OGU912HHI831♡	長野・高山小串	林賀寿美 33229
2	9月29日	白山9/19JMC 07	石川・白山	林賀寿美 33237
3	9月28日	KKV8/17TMS272	長野・川上村	林賀寿美 33238
4	9月28日	ASA9/7AS1	長野・御代田	林賀寿美 33242
5	10月4日	M10.1YWA181	兵庫・武庫川	林賀寿美 33292
6	10月4日	スゲ8.10JHA	群馬・菅沼	林賀寿美 33295
7	10月5日	MZA8.17HHI237♡	群馬・万座	アヤ10.5XX641 33314
8	10月4日	HK9.29STY280	滋賀・栗原	アヤ10/4KHA498 33315
9	10月6日	OGU8.12HHI202♡	長野・高山小串	林賀寿美 33367
10	10月5日	MYM10.1MA579	京都・美山	アヤ10.5XX721 33429
11	10月9日	OGU8.24HHI594♡	長野・高山小串	林賀寿美 33451
12	10月11日	TSN9.18 655	富山・朝日	アヤ10.11XX803 33496
13	10月15日	KKV8/17TMS350 3	長野・川上村	アヤ10/15KHA??? 33567
14	10月15日	ほうだつ9.28KZS388	石川・宝達	アヤ10/15KHA919 33578
15	10月16日	白山9/21JMC 74	石川・白山	アヤ10/16KHA954 33591
16	10月10日	山ZA08/21 IK-5	山形・蔵王	アヤ10/10KHA794 33722
17	10月19日	AP9/24 1187	群馬・赤城	アヤ10/19KHA1022 33782
18	10月21日	ほうだつ カ10.2KZS592	石川・宝達	アヤ10/21KHA1080 33815

戸奈瀬で標識されたアサギマダラは、台湾を含めると 7 頭南西諸島で再捕獲されている。一番多いのは四国の 19 頭であるが、四国への経路は近畿から直接のコースと、中国地方経由が考えられる。今年は中国地方で 7 頭も再捕獲されているので、愛媛県(2 頭)や高知県西端の大月町(3 頭)は中国地方経由の可能性が高い。京都気象台の日最高気温は、11 月中旬までは平年を大きく上回る日が多かった。気温が高いと南下を嫌って陸地伝いに西へ移動する傾向があると考えている。

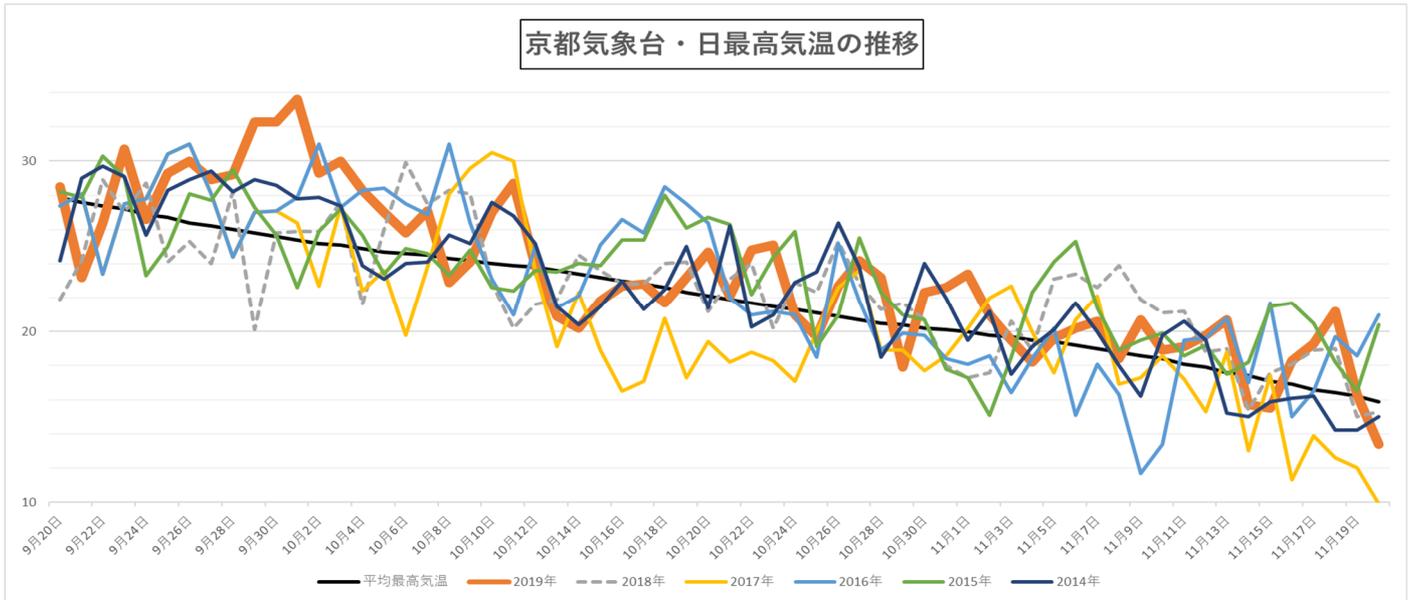
上黒田(4K)で再捕獲されたものは 17 頭であるが、うち 10 頭は中部山岳地帯以北の内陸部で標識されたものである。石川県白山市(2 頭)は日本海側であるが、山梨県の 1 頭を含めてすべて北陸経由ではないかと思われる。興味があるのは、兵庫県武庫川からの北上個体が 2 頭も含まれていることである。過去 8 年間の水尾の調査でも北上例が数多くあり、それをどのように評価するのか意見が分かれるところであるが、その一つは地球温暖化の影響である。南下時期が年々遅れがちになっていることと関係があるように思われる。もう一つは PA を含む花香成分の誘引力である。大気は層になっており、香りはむやみには拡散しないので、香りが濃ければ数十キロ離れて誘引されることがあっても不思議ではないように考える。

		2019年 移動 戸奈瀬 →南下移動		
日付	記号	場所	再標識	mail
1	10月2日	AYB9.28KHA125	兵庫・武庫川	1 M10.2YWA267 33274
2	10月2日	AYB9.28KHA155	滋賀・栗原	2 HK10.2STY306 33285
3	10月5日	AYB9.29XX373	兵庫・武庫川	3 M10.5YWA353 33311
4	10月6日	AYB10/2KHA317	兵庫・武庫川	4 M10.6YWA473 33337
5	10月6日	アヤ10/4KHA484	京都・京北	5 4K10.6XX855 33364
6	10月9日	AYB9.29XX350	徳島・明神山	1 Mj10.9KYS611 33452
7	10月10日	アヤ10/4KHA425	徳島・明神山	2 Mj10.9KYS6125 33455
8	10月16日	アヤ10.5XX614	兵庫・武庫川	6 M10.16YWA1199 33612
9	10月17日	アヤ10/14KHA868	岡山・芥子山	1 けしご山10/17しぼ181 33644
10	10月18日	AYB9.24KHA7	山口・豊浦	2 TH10.18TAF4757 33692
11	10月14日	AYB9.25KHA48	兵庫・洲本	7 写真・菅本一井上 33705
12	10月12日	アヤ10/6KHA528	広島・福山	3 写真・重政隆人 33718
13	10月20日	AYB9.29KHA187	大分・姫島	1 写真・南博 33739
14	10月21日	AYB9.24KHA36	福岡・刈田	2 写真・望月一井上 33851
15	10月11日	AYB9.30XX416	宮崎・清武	3 串間春生 33825
16	10月23日	AYB9.27KHA88	三重・大紀町	8 ZEN10.23KAZ166 33889
17	10月25日	AYB9.24XX88	徳島・鳴門	3 ナルト10.25ア 33904
18	10月26日	AYB10/14KHA857	徳島・美波	4 ヒワサ10.26 33930
19	10月28日	アヤ10/7KHA685	高知・室戸	5 ムロト10.28MA878 34004
20	10月28日	アヤ10/11KHA825	岡山・邑久町	4 OKU1028 868 34025
21	10月30日	アヤ10.5XX561	徳島・明神山下	6 MJ10.30KYS1078 34041
22	10月29日	アヤ10/22KHA1088	徳島・松茂町	7 写真・山本一井上 34049
23	10月27日	アヤ10/7KHA690	愛媛・松山	8 写真・森一井上 34068
24	11月3日	AYB9.24KHA14	鹿児島・屋久島	1 YAKU11/3YK-75 34125
25	11月3日	アヤ10/9KHA732	徳島・牟岐	9 ナダ11.3ミズキ 34128
26	10月26日	アヤ10/7KHA702	徳島・牟岐	10 写真・峯野一原 34127
27	11月3日	アヤ10.15XX1389	徳島・牟岐	11 ナダ11.3ヤマナ 34129
28	11月4日	AYB9.29XX264&KHA251	鹿児島・喜界島	2 キカイ11/4MF3469 34148
29	10月30日	アヤ10/20KHA1052	岡山・邑久町	5 NS1030OKU393 34169
30	10月26日	AYB9.29KHA231	三重・津	9 写真・匿名一奥田 34172
31	10月31日	AYB9.29XX335	愛媛・松山	12 KH365コウモ10/31 34193
32	11月7日	AYB10/16KHA960	台湾・澎湖島	3 麗麗しょう老師・陳 34220
33	10月26日	AYB10/8KHA709	徳島・牟岐	13 写真・峯野広明 34256
34	10月30日	アヤ10/9KHA751	香川・観音寺	14 福本かよ/井上浩 34314
35	10月17日	アヤ10/9KHA723	山口・周防大島	6 山本弘三 34341
36	10月15日	AYB9.29XX284	山口・周防大島	7 山本弘三 34369
37	11月13日	アヤ10.5XX639	高知・大月	15 小松佳代 34370
38	11月13日	アヤ10.15XX1398	鹿児島・奄美大島	4 白畑優杏/龍郷小 34374
39	11月16日	アヤ10.19KHA1024	鹿児島・奄美大島	5 宮山修 34445
40	10月27日	アヤ10.6XX1024	高知・室戸	16 長崎志津男/藤野道宏 34473
41	11月18日	アヤ10.8XX713	沖縄・八重岳	6 松本重陽/比嘉正一 34477
42	11月21日	アヤ10.5XX574	鹿児島・喜界島	7 キカイ11/21MF4144 34503
43	11月27日	アヤ10/7KHA669	高知・四万十	17 オキツ10/27Doi-160 34544
44	11月1日	アヤ10.5XX733	高知・大月	18 土田章雄 34591
45	11月1日	AYB9.30XX384	高知・大月	19 土田章雄 34593
46				

四国19南西7中国7近畿以北9九州3

2019年 移動 → 上黒田				
日付	記号	標識地	再標識	mail
1	10月6日	白山9/19AN95	石川・白山	写真・三橋一史 33348
2	10月6日	マル8.12リ/821	群馬・丸沼	写真・三橋一史 33349
3	10月6日	マルヌマ8.9リ/305	群馬・丸沼	写真・三橋一史 33350
4	10月6日	M9.26YWA104	兵庫・武庫川	写真・三橋一史 33360
5	10月7日	M9.26YWA101	兵庫・武庫川	4K10.7XX1086 33369
6	10月6日	UTU8.25JET1336	長野・美ヶ原	4K10.6XX826 33370
7	10月7日	SGD9.16YUK23	岐阜・日和田	4K10.7XX1090 33373
8	10月6日	OTR9.15SET052	長野・小谷	4K10.6XX849 33389
9	10月6日	アヤ10/4KHA484	京都・綾部	4K10.6XX855 33364
10	10月6日	KOS9.24XX122	京都・越畑	4K10.6XX893 33366
11	10月9日	白山9/30JMC238	石川・白山	写真・三橋一史 33422
12	10月9日	マル8.23リ/1813	群馬・丸沼	写真・三橋一史 33434
13	10月10日	マル8.23リ/872	群馬・丸沼	4K10.10XX1208 33466
14	10月10日	デコ8/24KZS075	福島・グランデコ	4K10.10XX1379 33467
15	10月10日	クリヤマ8.1 JHA	栃木・日光	4K10.10XX1268 33470
16	10月10日	OGU8.25HHI625◇	長野・高山	4K10.10XX1189 33479
17	10月10日	Fuji8.24JET1232	山梨・鳴沢	4K10.10XX1264 33501

2019年 移動 上黒田 →				
日付	記号	場所	再標識	mail
1	10月9日	4K10.6XX961	兵庫・武庫川	M10.9YWA692 33424
2	10月15日	4K10.10XX1359	兵庫・武庫川	M10.15YWA1106 33582
3	10月15日	4K10.10XX1281	兵庫・武庫川	M10.15YWA1122 33583
4	10月23日	4K10.7XX1148	兵庫・武庫川	M10.23YWA1492 33823
5	10月26日	4K10.6XX838	徳島・牟岐	目視:田中芳治/大原 33921
6	10月24日	4K10.6XX983	兵庫・神戸	写真:シロハナ 33946
7	11月17日	4K10.7XX1108	鹿児島・喜界島	キカイ11/17KZS902 34452
8	10月30日	4K10.6XX977	徳島・牟岐	写真・峯野広明/大原 34533
9	11月4日	4K10.10XX1278	高知・黒潮町	スズ11/4Doi-233 34552
10				
11				
12				
13				
14				
15				



上は京都気象台の過去6年間の最高気温の推移を示したグラフであるが、平年値を上回る日が多い。アサギマダラは何を基準にして南下を始めるかということ、日長時間の短縮と気温の低下が挙げられているが、年々南下時期が遅れていることを考えると、気温の影響のほうが大きいように思われる。アサギマダラの行動は地球温暖化を背景に一年一年顕著に変わっており、適応、そして進化を考えると、興味深い生態が垣間見えるのである。

下の左の写真は石川県白山市で標識されたものであり、右は群馬県丸沼で標識されたアサギマダラで、いずれも写真家・三橋一史さんが撮影されたものである。私たちは写真家やフジバカマなどを栽培する人たちのほか、再捕獲情報を提供して下さる方たちに支えられて標識調査を行っており、感謝している。



BV アサギマダラの会 金田 忍

(参照文献: <http://kyoto.d.dooo.jp/asagimadara.html>)